

平成19年度学会発表・講演等一覧

[企画部]

- ◇第36回国土地理院技術研究発表会 平成19年5月31日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・地理空間情報社会の実現に向けた国土地理院の役割：村上広史
- ◇第16回地理情報システム学会研究発表大会 平成19年10月20, 21日 北海道大学学術交流会館（北海道札幌市）
 - ・電子国土Webシステムを利用した地理空間情報の提供・共有の最近の動向：飯村威

[測地部]

- ◇日本地球惑星科学連合2007年大会 平成19年5月19日～24日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
 - ・ALOS/PALSARの観測データを利用した南極・昭和基地周辺における干渉SAR解析について：和田弘人・白井宏樹・松坂茂・藤原みどり・雨貝知美・藤原智（企画部）・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）・矢来博司（地理地殻活動研究センター）
 - ・陸域観測技術衛星「だいち」を利用した地殻・地盤変動の監視について：雨貝知美・和田弘人・藤原みどり・松坂茂・藤原智（企画部）・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）・矢来博司（地理地殻活動研究センター）
 - ・国土地理院における干渉SAR解析事業について(2)：藤原みどり・和田弘人・雨貝知美・松坂茂・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）・藤原智（企画部）・矢来博司（地理地殻活動研究センター）
 - ・1m級アンテナを用いた基線場検定用VLBIシステムの開発～広帯域測地VLBI実証実験～：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（NICT）・瀧口博士（NICT）・久保木裕充（NICT）・木村守孝（NICT）・中島潤一（NICT）・小山泰弘（NICT）・藤咲淳一（地理空間情報部）・高島和宏（国土交通大学校）
 - ・父島VLBIアンテナコロケーション作業について：重松宏実
- ◇第36回国土地理院技術研究発表会 平成19年5月31日 新宿明治安田生命ホール（東京都新宿区）
 - ・セミダイナミック補正について：宮崎清博
- ◇日本第四紀学会2007年大会 平成19年8月31日～9月2日 神戸大学百年記念会館（兵庫県神戸市）
 - ・測地測量およびSAR干渉解析による中越沖地震・能登半島地震の地殻変動像：津澤正晴・雨宮秀雄・和田弘人・雨貝知美・根元盛行・宮崎孝人（測地観測センター）・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）
- ◇第7回ALOSミニフォーラム 平成19年9月21日 国土地理院 地図と情報の科学館 オリエンテーションルーム（茨城県つくば市）
 - ・陸域観測技術衛星「だいち」を利用した地殻・地盤変動の監視について：雨貝知美
- ◇第27回極域地学シンポジウム 平成19年10月18, 19日 国立極地研究所講堂（東京都板橋区）
 - ・南極大陸S16の氷床変動：白井宏樹・和田弘人・岡村盛司
 - ・人工衛星による南極地形図作成：白井宏樹・和田弘人・岡村盛司・水田良幸（測図部）・岡村盛司
- ◇日本測地学会第108回講演会 平成19年11月7日～9日 ホテル浦島（和歌山県那智勝浦町）
 - ・新しい日本重力基準網の構築：本田昌樹・檜山洋平・越智久己一・石原操
 - ・レーザー励起Csガスセル型原子発振器による測地VLBI実験：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（NICT）・瀧口博士（NICT）・久保木裕充（NICT）・関戸衛（NICT）・小山泰弘（NICT）・大内裕司（アン

リツ)

・ALOS/PALSAR を利用した定常解析と緊急解析について：鈴木啓・雨貝知美・藤原みどり・和田弘人・飛田幹男（地理地殻活動研究センター）・矢来博司（地理地殻活動研究センター）

・超高速データ転送による地球姿勢計測への取り組み：谷本大輔（エイ・イー・エス）・小門研亮・栗原忍・町田守人・関戸衛（NICT）・小山泰弘（NICT）

◇2007 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 19 年 12 月 10 日～12 日 北海道大学学術交流センター(北海道札幌市)

・国土地理院機関報告：和田弘人・栗原忍・岩田悦郎・重松宏実・町田守人・小門研亮・谷本大輔（エイ・イー・エス）・農澤健太郎（エイ・イー・エス）・松坂茂・福崎順洋（地理地殻活動研究センター）

・超高速データ転送による地球姿勢計測への取り組み：谷本大輔（エイ・イー・エス）・重松宏実・町田守人・栗原忍・小門研亮・関戸衛（NICT）・小山泰弘（NICT）

・1m 級アンテナによる基線場検定用 VLBI システムの開発状況：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（NICT）・瀧口博士（NICT）・久保木裕充（NICT）・小山泰弘（NICT）・町田守人・大内祐司（アンリツ）

◇Conductivity Anomaly 研究会 平成 19 年 12 月 17, 18 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）

・国土地理院における地磁気観測の現状について：根本悟・石倉信広・嵯峨諭・石原操

・地磁気連続観測点における人口擾乱：石原操・嵯峨諭・石倉信広・濱崎英夫・白井宏樹・片桐百合子

◇平成 19 年度京都大学防災研究所特別教育研究経費（拠点形成）研究集会「衛星搭載型合成開口レーダーを用いた地震・火山災害ポテンシャル評価手法の高度化・効率化」 平成 20 年 1 月 15, 16 日 京都大学宇治キャンパス（京都府宇治市）

・干渉 SAR による地盤沈下の監視について：藤原みどり・鈴木啓・矢来博司・仲井博之（国土交通大学校）・雨貝知美・飛田幹男地理地殻活動研究センター）

◇第 7 回 IVS 技術開発センター シンポジウム 平成 20 年 2 月 15 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター（茨城県鹿嶋市）

・K バンド運用に向けたつくば 32m 鏡の取り組み：小門研亮・栗原忍・町田守人・藤咲淳一（地理空間情報部）・中井直正（筑波大学）・瀬田益道（筑波大学）・山内彩（筑波大学）・高島和宏（国土交通大学校）

・1m 級アンテナを用いた基線場検定用 VLBI システム(MARBLE システム)の開発状況：石井敦利（エイ・イー・エス）・市川隆一（NICT）・瀧口博士（NICT）・久保木裕充（NICT）・近藤哲朗（NICT）・小山泰弘（NICT）・町田守人・栗原忍

◇平成 19 年度京都大学防災研究所研究発表講演会 平成 20 年 2 月 28, 29 日 京都テルサ(京都府京都市)

・桜島および始良カルデラ周辺域における水準測量（2007 年 10 月～12 月）：山本圭吾（京都大学）・高山鐵朗（京都大学）・山崎友也（京都大学）・多田光宏（京都大学）・大倉敬宏（京都大学）・吉川慎（京都大学）・松島健（京都大学）・内田和也（京都大学）・中元真美（京都大学）・平岡喜文・塩谷俊治・根本盛行

◇Fifth IVS General Meeting（第 5 回国際 VLBI 事業総会） 平成 20 年 3 月 3 日～6 日 ロシア国サンクトペテルブルグ市

・Ultra-rapid UT1 Measurements with e-VLBI（e-VLBI を用いた超高速 UT1 計測）：松坂茂・和田弘人・栗原忍・小山泰弘（NICT）・関戸衛（NICT）・ルジャー・ハース（スウェーデンカルマーズ工科大学オンサラ宇宙天文台）・ヤン・ワーグナー（フィンランドヘルシンキ工科大学メッツァホビ電波天文台）

・VLBI Activities of Tsukuba 32-m Station and Tsukuba Correlator（つくば 32m VLBI 観測局およびつくば VLBI 相関局の活動報告）：松坂茂・和田弘人・岩田悦郎・重松宏実・栗原忍・町田守人・小門研亮・

谷本大輔 (エイ・イー・エス)・農澤健太郎 (エイ・イー・エス)

- ・The past decade of Tsukuba 32-m VLBI station (つくば32mVLBI観測局の10年間を振り返る): 松坂茂・和田弘人・岩田悦郎・重松宏実・栗原忍・町田守人・小門研亮・谷本大輔 (エイ・イー・エス)・農澤健太郎 (エイ・イー・エス)・高島和宏 (国土交通大学校)・福崎順洋 (地理地殻活動研究センター)

[測図部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2007 年大会 平成 19 年 5 月 19 日～24 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
 - ・2万5千分1地形図修正のための「だいち」単画像の判読性検証: 田中宏明
- ◇第36回国土地理院技術研究発表会 平成 19 年 5 月 31 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
 - ・基盤地図情報のための画像情報の整備: 田村栄一
- ◇日本写真測量学会平成 19 年度年次学術講演会 平成 19 年 6 月 21, 22 日 パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
 - ・ALOS による効率的な南極地域地形図作成手法の検討: 水田良幸
 - ・ALOS/PRISM 正射画像による自動変化抽出の試み: 笹川啓
- ◇平成 19 年度国土交通省国土技術研究会 平成 19 年 10 月 16, 17 日 都市センターホテル (東京都千代田区)
 - ・航空写真を利用した数値表層モデルの新たな取得手法について: 渡部金一郎
- ◇日本写真測量学会平成 19 年度秋期学術講演会 平成 19 年 10 月 31 日, 11 月 1 日 ハイブ長岡 (新潟県長岡市)
 - ・二時期の空中写真を使用した自動変化抽出: 笹川啓
 - ・全画素ステレオマッチングによって取得した DSM の精度検証について: 渡部金一郎
- ◇第 1 回 ALOS データノード共同 P1 シンポジウム 平成 19 年 11 月 19 日～23 日 京都国際会議場 (京都府京都市)
 - ・Automatic Change Detection Using Pair of PRISM Triplet Images: 笹川啓

[地理調査部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2007 年大会 平成 19 年 5 月 19 日～24 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)
 - ・航空レーザ測量データを活用した空間表現事例: 大塚孝泰
 - ・能登半島地震における電子国土版災害状況図の作成: 北原敏夫・木佐貫順一・関口辰夫
 - ・ALOS/AVNIR-2 画像を利用した災害状況把握: 北原敏夫・塩見和弘
- ◇第 36 回国土地理院技術研究発表会 平成 19 年 5 月 31 日 新宿明治安田生命ホール (東京都新宿区)
 - ・精密 3D 電子基盤情報の整備と活用: 門脇利弘
- ◇ASTER ワークショップ 平成 19 年 6 月 8 日 青山 TEPIA (東京都港区)
 - ・Development of Land Cover Data for Urban Heat Island Monitoring and Simulation by Combination of ASTER Data and Framework Geographic Datasets (都市のヒートアイランド現象の監視とシミュレーションのための ASTER データと基盤地理情報の組み合わせによる土地被覆データの整備): 山田美隆・永山透・小清水寛・木村佳織・堀野正勝 (日本測量調査技術協会)・斉藤和也 (アジア航測)・赤松幸生 (国際航業)・沼田洋一 (アジア航測)・望月貫一郎 (パスコ)・森大 (国際航業)・宮坂聡 (中日本

航空)

- ◇日本写真測量学会平成19年度年次学術講演会 平成19年6月21, 22日 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)
 - ・ヒートアイランド現象の解明・対策に資する土地被覆整備の試み(その2) : 永山透・小清水寛・山田美隆・木村佳織・堀野正勝(日本測量調査技術協会)・斉藤和也(アジア航測)・赤松幸生(国際航業)・沼田洋一(アジア航測)・望月貫一郎(パスコ)・森大(国際航業)・宮坂聡(中日本航空)
- ◇2007年能登半島地震・2007年新潟県中越沖地震活褶曲帯で発生した地震に関する調査・研究報告会 平成19年9月25日 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)
 - ・能登半島地震及び新潟県中越沖地震における災害状況図の作成と土地条件 : 関口辰夫
- ◇日本地理学会2007年秋季学術大会中越沖地震災害緊急ポスターセッション 平成19年10月6, 7日 熊本大学黒髪北キャンパス(熊本県熊本市)
 - ・電子国土を活用した災害状況図の提供 : 関口辰夫・木佐貫順一・坂井尚登
- ◇平成19年度国土交通省国土技術研究会 平成19年10月16, 17日 都市センターホテル(東京都千代田区)
 - ・地球地図のグローバル樹木被覆率データ作成について : 筒井俊洋・山田美隆
- ◇千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同利用研究発表会 平成20年2月28日 千葉大学(千葉県千葉市)
 - ・地球地図・土地被覆データ整備における都市域の抽出 : 梶川昌三・筒井俊洋・山田美隆・阿久津修・研川英征・建石隆太郎(千葉大学)

[地理空間情報部]

- ◇第36回国土地理院技術研究発表会 平成19年5月31日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
 - ・基盤地図情報について : 鎌田高造
- ◇平成19年度国土交通省国土技術研究会 平成19年10月16, 17日 都市センターホテル(東京都千代田区)
 - ・視覚障害者のための触地図原稿作成システムの開発 : 吉成秀勝

[測地観測センター]

- ◇日本地球惑星科学連合2007年大会 平成19年5月19日~24日 幕張メッセ国際会議場(千葉県千葉市)
 - ・平成19年能登半島地震に伴う地殻変動と震源断層モデル : 石本正芳・梅沢武・川元智司
- ◇第36回国土地理院技術研究発表会 平成19年5月31日 新宿明治安田生命ホール(東京都新宿区)
 - ・地理空間情報社会へのGEONETの貢献 : 齊藤隆
- ◇日本測地学会第108回講演会 平成19年11月7日~9日 ホテル浦島(和歌山県那智勝浦町)
 - ・GEONETにおけるアンテナ絶対位相続性モデルの適用について : 豊福隆史

[地理地殻活動研究センター]

- ◇EGU2007 general assembly (欧州地球科学連合2007年総会) 平成19年4月15日~20日 オーストラリアウィーン市
 - ・Regional gravity modelling over Japan using wavelets (ウェーブレットを用いた日本の地域的重力

場モデリング) : Isabelle Panet (IGN・フランス国土地理院・国土地理院)・Yuki Kuroishi・Matthias Holschneider (ポツダム大学)・Olivier Jamet (IGN・フランス国土地理院)

- Co-seismic and post-seismic signatures of the Sumatra December 2004 and March 2005 earthquakes in GRACE satellite gravity (GRACE で観測された 2004 年 12 月・2005 年 3 月スマトラ地震の地震時・地震後重力変動について) : Isabelle Panet (IGN・フランス国土地理院・国土地理院)・Valentin Mikhailov (ロシア地球物理学研究所・IPGP)・Michel Diament (IPGP)・Fred Pollitz (USGS)・Geoffrey King (IPGP テクトニクス研究所)・Olivier de Viron (IPGP・パリ大学)・Matthias Holschneider (ポツダム大学)・Richard Biancale (CNES)・Jean-Michel Lemoine (CNES)

◇リモートセンシング学会第 42 回 (平成 19 年度春季) 学術講演会 平成 19 年 5 月 10, 11 日 日本大学 文理学部 百周年記念会館 (東京都世田谷区)

- 災害状況把握のための高分解能光学衛星画像と SAR 画像の活用 : 小荒井衛 (国土地理院・茨城大学理工学研究科)・佐藤浩・松岡昌志 (産業技術総合研究所)・天野一男 (茨城大学)

◇天然資源の開発利用に関する日米会議(UJNR)耐風・耐震構造専門部会第 39 回合同部会 平成 19 年 5 月 14 日~16 日 国土技術政策総合研究所 (茨城県つくば市)

- Correlation between aspects of slope failures and surface displacement triggered by the 2005 northern Pakistan earthquake (2005 年パキスタン北部地震による斜面崩壊の方位と地表変位の関係) : 佐藤浩・宇根寛・飛田幹男

◇日本地球惑星科学連合 2007 年大会 平成 19 年 5 月 19 日~24 日 幕張メッセ 国際会議場 (千葉県千葉市)

- 地殻変動の時空間変化が明らかにした伊豆大島の過去約 50 年間の多数の側噴火未遂イベント : 村上亮
- 硫黄島の最近の地殻変動と地表変位 : 宇根寛・大井信三・矢来博司
- 2003 年十勝沖地震以降の北海道の地殻変動とその解釈 : 水藤尚・小沢慎三郎
- 南関東アスペリティー掘削計画(KAP)における地殻変動観測のねらい : 西村卓也
- 2003 年頃からみられる岩手付近の西への変動速度の増加 : 小沢慎三郎
- 茨城県瓜連丘陵引田層中に見いだされた前期更新世テフラ層 : 大井信三・山家慎之助 (茨城大学)・北村京子 (総務部)・安藤寿男 (茨城大学)
- 測地観測から制限される陸水による極運動励起 : 眞崎良光
- ALOS/PALSAR の干渉 SAR 解析で得られた硫黄島の地殻変動 : 矢来博司・村上亮・飛田幹男・藤原智 (企画部)・和田弘人 (測地部)・雨貝知美 (測地部)・藤原みどり (測地部)
- SAR による地殻変動計測 : 飛田幹男・島田政信 (JAXA)・藤原みどり (測地部)・雨貝知美 (測地部)・和田弘人 (測地部)・藤原智 (企画部)・松坂茂 (測地部)・宗包浩志・矢来博司・村上亮
- 白神山地・泊の平地区における地形分類図の作成 : 佐藤浩・八木浩司 (山形大学)・小荒井衛・関口辰夫 (地理調査部)
- 白神山地・泊の平地区における自動と判読の地形分類図の比較 : 佐藤浩・八木浩司 (山形大学)・小荒井衛・岩橋純子
- 衛星画像等で捉えた南レイテにおける大規模山体崩壊の地形的特徴 : 小荒井衛・佐藤浩・神谷泉・新井場公德 (消防庁)・小山内信智 (国土技術政策総合研究所)・伊藤英之 (国土技術政策総合研究所)
- 地図情報、地形分類、災害履歴を組み合わせた有効なハザード情報発信の検討 : 小荒井衛
- 重力衛星 GRACE 観測からの日本周辺の地域的な重力場決定 一第 2 報 : 黒石裕樹
- 能登半島地震による斜面崩壊の地形的特徴の GIS 解析 : 佐藤浩・宇根寛・小荒井衛

- ・平成 19 年能登半島地震に伴う地殻変動と震源断層モデル：飛田幹男・小沢慎三郎・西村卓也・矢来博司・水藤尚・村上亮・宇根寛・山田晃子・高野和友・湯通堂亨（測地観測センター）・石本正芳（測地観測センター）・石倉信広（測地部）・川元智司（測地観測センター）・雨貝知美（測地部）

◇Eco Summit 2007（国際生態学会議 2007） 平成 19 年 5 月 22 日～27 日 中華人民共和国北京市

- ・Land cover mapping in Asia using existing Chinese land use and land cover data（既存の中国土地利用／土地被覆データを利用したアジアの土地被覆図化）：佐藤浩・建石隆太郎（千葉大学）・肖捷穎（河北科学技術大学）

◇第 5 回火山噴火予知研究シンポジウム 平成 19 年 5 月 29 日 東京大学小柴ホール（東京都文京区）

- ・噴火予知の高度化に向けて地殻変動観測は今後何をめざすべきかー多項目観測の統合化と動的マグマモデルへの挑戦ー：村上亮

◇ISPRS Hannover Workshop 2007 High-Resolution Earth Imaging for Geospatial Information（国際写真測量学会ハノーバーワークショップ 2007 空間データのための高分解能地球イメージ） 平成 19 年 5 月 29 日～6 月 1 日 ハノーバー大学写真測量空間情報研究所（ドイツ国ハノーバー市）

- ・Application of high-resolution satellite imagery for detection of disaster damages and disaster monitoring -Through the produce of interpretation characteristics cards of satellite imageries for disaster damages-（災害状況把握とモニタリングのための高分解能衛星画像の利活用ー災害判読特性カードの作成を通してー）：小荒井衛・神谷泉・佐藤浩・松岡昌志（産業技術総合研究所）・天野一男（茨城大学）

◇ヒマラヤ（氷河）研究会 平成 19 年 6 月 1 日 名古屋大学（愛知県名古屋市）

- ・ALOS-PRISM について：神谷泉

◇「測量の日」記念行事記念講演会 平成 19 年 6 月 7 日 サン・イレブン高松（香川県高松市）

- ・地震を知る～四国の地震のしくみと備え～：宇根寛

◇日本地質学会関東支部第 1 回研究発表会 平成 19 年 6 月 10 日 早稲田大学国際会議場（東京都新宿区）

- ・茨城県瓜連丘陵引田層中に見いだされた前期更新世テフラ層：大井信三・山家慎之助（茨城大学）・北村京子（総務部）・安藤寿男（茨城大学）

◇日本写真測量学会平成 19 年度年次学術講演会 平成 19 年 6 月 21, 22 日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市）

- ・米軍写真の高精度標定手順と地形データの精度評価：長谷川裕之・佐野滋樹（玉野総合コンサルタント）・山本尚（玉野総合コンサルタント）・小荒井衛
- ・八王子・長沼公園における夏季夜間の熱センサデータと地形・植生との関係：佐藤 浩・小荒井衛・江田敏幸（プラトー研究所）・宮坂聡（中日本航空）
- ・都市緑地の熱緩和効果判定のための植生三次元を考慮したレーザ植生図の提案：小荒井衛・佐藤浩・江田敏幸（プラトー研究所）・伊藤麻子（プラトー研究所）・宮坂聡（中日本航空）・鈴木浩二（中日本航空）
- ・リモートセンシングで捉えたレイテ島地すべりの地形的特徴：小荒井衛・佐藤浩・神谷泉

◇IUGG 2007 Perugia（国際測地学および地球物理学連合 2007 年ペルージャ大会） 平成 19 年 7 月 2 日～13 日 イタリア国ペルージャ市

- ・A new GNSS software simulator（衛星測位システムシミュレータの開発）：宗包浩志・黒石裕樹・松坂茂（測地部）・赤石明（三菱電機）
- ・Geodetic constraint on slip distribution of three megathrust earthquakes along the Kuril trench, northern Japan（千島海溝沿いに発生した 3 つの大地震の滑り分布に関する測地データ解析）：西村卓也

- Approach of regional gravity field modeling from GRACE data for geoid model improvement for Japan (GRACE データを用いた、日本のジオイド・モデル改良のための地域的重力場決定の試み) : Yuki Kuroishi・F. G. R. Lemoine (米国ゴダード宇宙飛行センター)・D. D. Rowlands (米国ゴダード宇宙飛行センター)
- ◇「地震防災に関する講座」に関する講習会 平成 19 年 7 月 10 日 名古屋市工業研究所 (愛知県名古屋市)
 - 東海地震の観測体制の現状と地殻変動に関する最近の話題 : 水藤尚
- ◇XXIII International Cartographic Conference (第 23 回国際地図学会議) 平成 19 年 8 月 1 日 ロシア国際会議場 (ロシア国モスクワ市)
 - GIS analysis of the relationship between earthquake damages and micro landforms using land condition maps (地震被害と土地条件図の地形情報との関係についての GIS 解析) : 小荒井衛・佐藤浩・宇根寛・北原敏夫 (地理調査部)
- ◇地学団体研究会大阪総会 2007 平成 19 年 8 月 17 日~19 日 大阪市立大学 (大阪府大阪市東)
 - 宅地防災対策への時系列地理情報の利活用 : 小荒井衛・長谷川裕之
- ◇日本国際地図学会平成 19 年度定期大会 平成 19 年 8 月 25, 26 日 法政大学市ヶ谷キャンパス (東京都千代田区)
 - 土地条件図の数値データを利用した災害研究やハザードマップへの利活用 : 小荒井衛・佐藤浩・宇根寛・北原敏夫 (地理調査部)
- ◇日本第四紀学会 2007 年大会緊急セッション”中越沖地震・能登半島地震” 平成 19 年 8 月 31 日, 9 月 1 日 神戸大学百年記念会館 (兵庫県神戸市)
 - SAR 干渉画像による能登半島地震及び中越沖地震の地形変化抽出とその地形条件 : 宇根寛・佐藤浩・小荒井衛・矢来博司
- ◇第 114 年学術大会緊急パネルディスカッション:「我が国の防災立地に対する地球科学からの提言? 平成 19 年 新潟県中越沖地震にあたって?」 平成 19 年 9 月 7 日~14 日 北海道大学 (北海道札幌市)
 - 平成 19 年 (2007 年) 新潟県中越沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル : 飛田幹男
- ◇Journees 2007 (ジュルネ 2007) 平成 19 年 9 月 17 日~19 日 フランス国ムードン市
 - Meteorological interpretation of transient LOD changes (地球自転変動の気象学的解釈について) : 眞崎良光
- ◇日本地理学会 2007 年秋季学術大会 平成 19 年 10 月 6, 7 日 熊本大学黒髪北 (熊本県熊本市)
 - 合成開口レーダー干渉画像による 2007 年能登半島地震に伴う地すべりの抽出 : 宇根寛・佐藤浩・矢来博司
 - 多種の観測の統合が明らかにした 2007 年能登半島地震 : 宇根寛
- ◇日本地理学会 2007 年秋季学術大会中越沖地震災害緊急ポスターセッション 平成 19 年 10 月 6, 7 日 熊本大学黒髪北 (熊本県熊本市)
 - 測地観測・SAR 干渉解析と震源断層モデル : 津沢正晴 (測地部)・宇根寛・雨貝知美 (測地部)・藤原みどり (測地部)・鈴木啓 (測地部)・西村卓也
 - SAR 干渉画像による地形変化の抽出 : 宇根寛・矢来博司・飛田幹男
 - 建物被害と地表変動の分布と土地条件との関連性について : 小荒井衛・佐藤浩・北原敏夫 (地理調査部)・宇根寛
- ◇日本気象学会 2007 年度秋季大会 平成 19 年 10 月 14 日~16 日 北海道大学 (北海道札幌市)

- ・地球自転速度変化で捉える東西風の盛衰：眞崎良光
- ◇Joint International GSTM and DFG SPP Symposium (GRACE サイエンスチーム会議およびドイツ研究協会特別優先研究計画の国際共同シンポジウム) 平成 19 年 10 月 15 日～17 日 GFZ (ポツダム地球科学研究所)、(ドイツ国ポツダム市)
 - ・Gravity field modeling from GRACE and its application to geoid model improvement for Japan (GRACE を用いた重力場決定とその日本のジオイド・モデル改良への応用)：Yuki KUROISHI・F. G. R. Lemoine (米国ゴダード宇宙飛行センター)・D. D. Rowlands (米国ゴダード宇宙飛行センター)
 - ・Regional wavelet modeling over Japan (ウェーブレットを用いた日本周辺の地域的モデル化)：Isabelle Panet・Yuki Kuroishi・Matthias Holschneider (ポツダム大学)・Olivier Jamet (IGN・フランス国立地理院)
- ◇迫り来る巨大地震に備えて 平成 19 年 10 月 16 日 東海テレビテレビピアホール (愛知県名古屋市)
 - ・中部地方の最近の地殻変動と電子基準点を用いた防災情報の発信に向けて：西村卓也
- ◇第 16 回地理情報システム学会研究発表大会 平成 19 年 10 月 20, 21 日 北海道大学学术交流会館 (北海道札幌市)
 - ・韓国の GIS・ユビキタス施策と技術開発動向：小荒井衛・Young-Joo LEE (韓国国土研究院)
- ◇地震学会 2007 年秋季大会 平成 19 年 10 月 24 日～26 日 仙台国際センター (宮城県仙台市)
 - ・平成 19 年新潟県中越沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル(その 1)：国土地理院中越沖地震地殻変動解析グループ
 - ・「だいち」PALSAR データの干渉解析で明らかになった新潟県中越沖地震に伴う地表面変動：矢来博司・飛田幹男・宇根寛・佐藤浩・小荒井衛・雨貝知美 (測地部)・藤原みどり (測地部)
 - ・平成 19 年新潟県中越沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル(その 2)：国土地理院中越沖地震地殻変動解析グループ
 - ・2000 年伊豆諸島地震の終息期におけるマグマ貫入活動：小沢慎三郎・水藤尚
- ◇日本写真測量学会平成 19 年度秋季学術講演会 平成 19 年 10 月 31 日, 11 月 1 日 ハイブ長岡 (新潟県長岡市)
 - ・平成 19 年新潟県中越沖地震の被害状況の判読と地形条件との関連性：小荒井衛・佐藤浩・宇根寛
 - ・見附市における共用地図利用システムの構築検討：小荒井衛、福島康博 (地理調査部)・鈴木宏昭 (国土交通大学校)・飯村威 (企画部)・後藤亮一 (地理空間情報部)・阿部誠 (地理空間情報部)・清水幸雄 (見附市)
 - ・迅速測図原図による明治期風景の再現と景観要素特徴の解析：長谷川裕之・小荒井衛
- ◇CSIS DAYS 2007 (2007 年度 空間情報科学研究センター シンポジウム) 平成 19 年 11 月 1, 2 日 東京大学柏キャンパス (千葉県柏市)
 - ・見附市における基盤地図情報を活用した市内共用 GIS の構築実験：小荒井衛・福島康博 (地理調査部)・鈴木宏昭 (国土交通大学校)・飯村威 (企画部)・後藤亮一 (地理空間情報部)・阿部誠 (地理空間情報部)・清水幸雄 (見附市)
 - ・白神山地・泊の平地区における航空レーザ地生態学図の作成：佐藤浩・小荒井衛
 - ・シームレス測位の実現のための技術開発：神谷泉・小荒井衛・溝口永実 (九州テン)・真島祐二 (九州テン)
 - ・地震被害と土地条件との関係に関する GIS 解析：宇根寛・小荒井衛・佐藤浩
- ◇日本測地学会第 108 回講演会 平成 19 年 11 月 7 日～9 日 ホテル浦島 (和歌山県那智勝浦町)

- ・2007年8月房総半島沖のスロースリップ：水藤尚・小沢慎三郎・飛田幹男
- ・1973年根室半島沖地震に伴う地殻変動の再検討とプレート間相互作用の推定：西村卓也
- ・GEONETルーチン解析戦略第4版の構築に向けて：畑中雄樹・宗包浩志・岩下知真子（測地観測センター）・湯通堂亨（測地観測センター）・小谷京湖（測地観測センター）・石本正芳（測地観測センター）・川元智司（測地観測センター）
- ・RINEX version 3フォーマットのためのRINEX圧縮プログラムの拡張：畑中雄樹
- ・ALOS/PALSARの干渉解析で捉えられた2007年サハリン南部の地震に伴う地殻変動：矢来博司・飛田幹男・鈴木啓（測地部）
- ・平成19年(2007年)新潟県中越沖地震に伴う地殻変動と震源断層モデル：飛田幹男・西村卓也・小沢慎三郎・水藤尚・国土地理院中越沖地震地殻変動解析グループ
- ・重力衛星GRACE観測からの日本周辺の重力場復元とそのジオイド決定への応用：黒石裕樹・F. G. R. Lemoine（米国ゴダード宇宙飛行センター）・D. D. Rowlands（米国ゴダード宇宙飛行センター）
- ・統合質量分布に基づく地球回転モデル：眞崎良光
- ・対流圏遅延によるGPS測位誤差の数値シミュレーションGEONETに関するケーススタディー：宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・矢来博司
- ・1945年三河地震(M=6.8)に伴う地殻変動と震源断層モデル：高野和友
- ・伊豆大島の次期噴火シナリオ作成において考慮すべきポイント：村上亮
- ◇日本地形学連合2007年秋季大会 平成19年11月10日 筑波大学(茨城県つくば市)
 - ・LiDER DEMを用いた様々なウィンドウサイズによる傾斜計測とその統計的特徴：岩橋純子・神谷泉
 - ・SAR干渉画像による地形変化の抽出ー能登半島地震及び中越沖地震を例としてー：宇根寛・佐藤浩・矢来博司
 - ・パキスタン北部地震・能登半島地震・中越沖地震の斜面崩壊異方性について：佐藤浩・宇根寛・宮原伐折羅（測地観測センター）
- ◇The 28th Asian Conference on Remote Sensing (第28回アジアリモートセンシング会議) 平成19年11月12日～16日 マレーシア国クアラルンプール市
 - ・REDUCTION OF JPEG AND OTHER NOISE FOR ALOS PRISM IMAGE (ALOS PRISM画像のJPEGノイズ等の低減)：神谷泉
- ◇日本火山学会2007年度秋季大会 平成19年11月18日 島原復興アリーナ・雲仙災害記念館(長崎県島原市)
 - ・伊豆大島の次期噴火シナリオ作成において考慮すべき観点：村上亮
 - ・小笠原硫黄島の火山活動史：大井信三・矢来博司
- ◇CITIES ON VOLCANOES 5 (第5回火山都市国際会議) 平成19年11月19日～23日 島原復興アリーナ・雲仙災害記念館(長崎県島原市)
 - ・Utilization of landform classification and topographical information for volcanic hazard mapping (火山ハザードマップへの地形分類および地形情報の利活用)：小荒井衛
 - ・Repeated Subsurface Dike Intrusions beneath Izu-Oshima Volcano during Recent 50 Years (地殻変動の時空間変化が明らかにした伊豆大島の過去約50年間の多数の側噴火未遂イベント)：村上亮・山田晃子・山口智也(北海道地方測量部)・奥山哲(産業技術総合研究所)
- ◇討論会「日本海沿岸褶曲・断層帯の形成・成長と地震活動」 平成19年11月24, 25日 新潟大学五十嵐キャンパス(新潟県新潟市)

- ・SAR 干渉画像で捉えた地盤変状と活褶曲の成長：小荒井衛・宇根寛・佐藤浩・矢来博司・飛田幹男
- ◇日本リモートセンシング学会 第 43 回学術講演会 平成 19 年 12 月 6, 7 日 大阪府立大学(大阪府堺市)
 - ・ALOS PRISM 画像の JPEG ノイズの低減処理：神谷泉・斎藤元也 (東北大学)
- ◇AGU 2007 Fall Meeting (米国地球物理学連合 2007 年秋季大会) 平成 19 年 12 月 10 日～14 日 モスコニーセンター (米国カリフォルニア州サンフランシスコ市)
 - ・Numerical simulation of positioning errors due to tropospheric delay- a case study with the Japanese GPS network (GEONET) (大気遅延量に起因する測位誤差の数値シミュレーション-GEONET におけるケーススタディー)：宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・矢来博司
- ◇第 17 回環境地質シンポジウム 平成 20 年 1 月 10, 11 日 日本大学文理学部百周年記念館国際会議場(東京都世田谷区)
 - ・中越沖地震による建物被害と地盤変動：小荒井衛・佐藤浩・宇根寛・矢来博司
- ◇北淡活断層シンポジウム 2008 平成 20 年 1 月 12, 13 日 北淡震災記念公園セミナーハウス (兵庫県淡路市)
 - ・地殻変動からみた能登半島地震と中越沖地震：宇根寛
 - ・SAR 干渉画像にあらわれた‘お付き合い’地殻変動：宇根寛・飛田幹男・小澤慎三郎
- ◇平成 19 年度京都大学防災研究所特別教育研究経費 (拠点形成) 研究集会「衛星搭載型合成開口レーダーを用いた地震・火山災害ポテンシャル評価手法の高度化・効率化」平成 20 年 1 月 15, 16 日 京都大学宇治キャンパス (京都府宇治市)
 - ・SAR 干渉解析による能登半島地震に伴う地すべり変動の抽出：矢来博司・飛田幹男・宇根寛・佐藤浩
 - ・InSAR による 2007 年スマトラ島南部沖地震の地殻変動：飛田幹男・小沢慎三郎・宇根寛・雨貝知美 (測地部)・藤原みどり (測地部)・鈴木啓 (測地部)・矢来博司
- ◇The 3rd International Workshop on the Kanto Asperity Project (第 3 回関東アスペリティー・プロジェクト・国際ワークショップ) 平成 20 年 2 月 16, 17 日 千葉大学けやき会館 (千葉県千葉市)
 - ・Occurrence of quasi periodic slow slips off the coast of the Boso peninsula, Japan (房総半島沖で繰り返し発生するスロースリップ)：水藤尚・小沢慎三郎
- ◇地震・火山噴火予知研究計画シンポジウム 平成 20 年 3 月 3 日～5 日 東京大学地震研究所 (東京都文京区)
 - ・有限要素法およびその拡張によるプレート境界域周辺の地殻変動シミュレーション：水藤尚
 - ・日本列島及び周辺域の長期広域地殻活動:全体：西村卓也
 - ・列島及び周辺域のプレート運動, 広域応力場：西村卓也
- ◇衛星リモートセンシング推進委員会第 3 回環境WG 平成 20 年 3 月 21 日 財団法人リモート・センシング技術センター (東京都港区)
 - ・都市の熱環境モニタリング等先端技術の紹介：小荒井衛
- ◇筑波大学第 32 回 GIS 研究会 平成 20 年 3 月 27 日 筑波大学総合研究棟 (茨城県つくば市)
 - ・航空レーザー測量を活用した環境解析研究：小荒井衛
- ◇日本地理学会 2008 年春季学術大会 平成 20 年 3 月 29, 30 日 獨協大学 (埼玉県草加市)
 - ・茨城県東茨城台地における「北向き緩斜面」の形成プロセスと最終氷期の段丘形成：大井信三・坂井尚登 (地理調査部)
 - ・2007 年能登半島地震及び新潟県中越沖地震による斜面崩壊の地形的特徴と異方性：宇根寛・佐藤浩・小荒井衛・宮原伐折羅 (測地観測センター)

- ・平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震で顕著だった地盤変状：小荒井衛・長谷川裕之・宇根寛・佐藤 浩
- ・シンポジウム「今後の地理空間情報社会の進展に向けての地理学の役割ー地理空間情報活用推進基本法の制定を受けてー」の趣旨説明：小荒井衛・碓井照子（奈良大学）・村山祐司（筑波大学）

[九州地方測量部]

◇日本国際地図学会定期大会 平成 19 年 8 月 26 日 法政大学市ヶ谷キャンパス ボアソナータワー26 階会場（東京都千代田区）

- ・米国議会図書館所蔵の伊能大図と国土地理院所蔵の伊能中図：菱山剛秀